

からくりとは

What is “karakuri”?

日本の記録に残る最古のからくりは、「日本書紀」で記述された「指南車(658年)」です。「からくり」という言葉は16世紀に登場したとされ、その語源は諸説ありますが「糸を引っ張って操作する」という意味の「からくる」が名詞化したものと言われます。その他には、「からみくる(絡繰)」「かはりくる(変転)」がなまったとする説などがあり、唐繰、機巧、機関などの文字も当てられました。

その中身は、動力源として的人力、水、砂、ゼンマイなど、そして、力を伝え動きを作る糸、歯車、カムなど、さらに動かしたいものへとつなぐ糸、リンクなどで構成されます。

一見ただけではどういった仕掛けしかなのかわからない複雑な動きを、実は巧妙な機械仕掛けこうみょうで実現していることから、どこか「不思議」で「裏がある」といった響きひびを感じます。

The oldest recorded “karakuri” in Japan is Shinansha (The South-pointing Chariot) (658AD), which was written about in Chronicles of Japan. The word “karakuri” is said to have appeared in the 16th century. There are various theories about the origin of the word “karakuri”, but one theory is that it is a corruption of the word “karakuru,” which means “to manipulate something by pulling a string.”

“Karakuri” devices consist of a power source that uses water, sand, a spring, etc., and a transmission section that uses strings, gears, cams, links, etc.

Complicated movements are triggered by an ingenious gimmick that’s not apparent at first glance. That’s why the word “karakuri” has a connotation of “wondrousness” and “tricks.”

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.